

---

## 俳句

柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺

正岡子規

春風や鬨志いだきて丘に立つ

高浜虚子

うしろすがたのしぐれてゆくか

種田山頭火

咳をしても一人

尾崎放哉

赤い椿白い椿と落ちにけり

河東碧梧桐

ゆさゆさと大枝ゆるる桜かな

村上鬼城

春泥に影坊二つあとやさき

飯田蛇笏

神田川祭の中をながれけり

久保田万太郎

春の夜のまどろみの中にゐて寂し

杉田久女

燈ともして梅はうつむく花多き

橋本多佳子